



Title	北海道大学附属図書館報「榆蔭」
Citation	(123), 1-32
Issue Date	2006-07-31
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/66306
Type	periodical
File Information	yuin123.pdf



[Instructions for use](#)



掬 蔭

Yuin 北海道大学附属図書館報

目 次

巻頭言	HUSCAP (北海道大学学術成果コレクション) の現況…11
学術研究コンテンツ整備の現況について	「北方資料データベース」, 「北海道大学北方関係資料総合目録(β版)」の紹介と追加データベースのお知らせ…14
—研究基盤の整備とその経費の問題—	北海道大学附属図書館講演会(平成17年度第2回)が開催される…16
学術研究コンテンツ小委員会委員長(副館長)	経済学研究科・経済学部図書室が移転しました…17
大平 具彦……………1	附属図書館北方資料室資料紹介(シリーズ1) ……18
全学教育新カリキュラムにおける北分館の役割	教員著作寄贈図書・寄贈文献(平成18年3月1日～6月22日)…20
—新入生の北分館入館者数の増加について—	平成17年度図書館統計……………21
附属図書館副館長・北分館長 大平 具彦……………5	会議(平成18年3月18日～7月14日) ……25
寄贈資料紹介	図書館委員会委員名簿・北分館委員会委員名簿・学術研究コンテンツ小委員会委員名簿・学術成果発信小委員会委員名簿・点検評価小委員会委員名簿…27
中村泰三氏寄贈図書について	人事往来……………29
スラブ研究センター 助教授 兎内 勇津流……………7	図書館日誌(平成18年4月～6月) ……31
お知らせ	附属図書館・北分館・部局図書室の開館(開室)時間…32
来館日誌(平成18年3月～6月) ……9	
中村総長, 遠藤事務局長が改修後の北分館を視察……………10	

学術研究コンテンツ整備の現況について ——研究基盤の整備とその経費の問題——

学術研究コンテンツ小委員会委員長(副館長) 大平 具彦

1. はじめに

図書館委員会のもとにおかれた学術研究コンテンツ小委員会は, ここ両三年, 経費に苦労しながらも, 本学の学術研究コンテンツ充実をはかるために, 慎重な検討審議を経ながら, 電子ジャーナルや学術文献データベースの新規購入を推し進めている。今年度は, 予算の関係上, 例年より早く来年度の購入計画を立案してきたが, その検討作業の中で, いくつかの課題が露

わになってきた。実は, これらの課題はしばらく前から視野に入っていたのだが, 事態は大きな曲がり角を迎えつつあるように思われる。以下, 学術研究コンテンツの整備の現状をお伝えし, 各方面の理解をお願いしたい。

2. これまでの経緯と問題の所在

事態は一見すると複雑な様相を呈してはいるが, 問題そのものは極めて明快である。電子媒

体の学術研究コンテンツの購入に、大学全体で昨年度(平成17年度)は、電子ジャーナル12,677純タイトル及び学術文献データベース25種類に対し、約4億7600万円(図書館の予算全体の半分を優に超える)を支出しているのだが、一方、学術研究コンテンツは年々に相当の(数%から10%)値上げが予測され、このままゆけば、近々の段階で限界に達してしまうからである。大学の研究基盤が学術資料の整備に大きく依拠する以上、これは大学の根幹にかかわる実に大きな問題であると言わねばならない。

現在の状況を説明する前に、まずこれまでの経緯を確認しておきたい。周知のように、北大では、平成15年度より、電子ジャーナル、学術文献データベースの購入費用を、それまでの部局負担から全学共通経費化した。電子媒体の学術コンテンツは、利用が便利な上に、大学全体の共有財産として、本学の研究者、学生が可能な限り学術コンテンツにアクセスできる研究環境を整備するためである。副次的効果として、大学全体で共通化すれば、各部局で重複して購入している無駄を省くことができるという見通しも含まれていた。この結果、北大では、研究に携わる者は誰でも、所属する部局が購入していない電子ジャーナルであっても、24時間365日いつでも、自分のコンピューターの前にながら必要な資料にアクセスできる研究環境がつけられたのである。これは全国の大学レベルで最先端をゆくものであった。共通経費化と併せて、学術コンテンツの整備を任務とする組織として、図書館委員会のもとに学術研究コンテンツ小委員会が設けられた。一方、当初は各部局からの拠出によって共通化された財源は、平成16年度から、前年度の経費をベースに、大学全体の費用として予算項目の中にあらかじめ特定経費化され、現在に至っている。

ちなみに、利用状況について述べておくと、

昨年度の年間実績で、電子ジャーナルは190万件のアクセスがあり、データベースについては81万件の検索があった。電子媒体の学術文献が今やいかに活用されているかを、如実に示す数字であるように思う。

小職が、学術研究コンテンツ小委員会の委員長を拝命したのは平成15年5月で、ちょうど電子ジャーナル、学術文献データベースの購入費用の共通経費化が実施される初年度であった。小職はこの共通経費化に至る検討資料を見て、その基本的な考え方はよく理解できたし、また平成15年度から17年度まで3年間の試行的実施の後、平成18年度に財源については見直すという段階的な設計も施されていたのだが、将来的に予想される経費の増大に一抹の不安を覚えたのも確かである。

というのも、電子ジャーナルは全くの売り手市場で年々の価格上昇率が高く、このままでは学術の基盤そのものが電子ジャーナル出版資本に握られてしまうのではないかという危機感が世界的にも広まっていたからである。つまり、学術情報なしでは研究が成り立たない大学は、それを独占的に保有している電子ジャーナル出版社側のほぼ言いなりの値段で、その学術情報を買わざるを得ない状況になっているわけなのだ。事態は深刻である。もし、予算が続かなくなったら……?しかもこれは特殊北大だけの話ではなく、全国の大学に関わる問題であり、より大きく言えば、科学立国を掲げる国にとっては、国家戦略に関わる問題であると言えようもいい。もちろんこうした状況に、各大学はただ手をこまねいていたわけではない。現在、大学間で電子ジャーナルタスクフォースやコンソーシアムが結成されており、出版社側と価格交渉を行って効果も上げている。しかし出版社側の営業は巧みであり、年々の価格上昇は一向に衰えていないというのが現状である。

3. 現在の整備状況

こうした状況に立って、学術研究コンテンツ小委員会では、「利用度が極めて低いものの経費節減をはかる」ことが先ずは必要と考え、現在購入している学術コンテンツの利用状況を精査して、これに該当するものがないかを確認することとなった。確かに図書館は、利用の多寡とは別に、学術資料を豊富に備えておくことを使命としている。だが、財源が限られている中では、共同利用のコンテンツについては、利用の多寡により示される経費の効率性の観点からも考慮する必要がある。つまりは、一般の生活における会計と同じく、新たな財源を云々する前に現在の支出状況を見直し、必要とあらば節約をはかることこそ第一歩と考えたわけである。この方針に沿って、昨年の学術研究コンテンツ小委員会では、共通経費で購入していた電子ジャーナル全体のうち、2004年1年間での利用実績がゼロのもの89誌について、共通経費での購入を2006年から中止することを決定した。この結果、全体で約570万円の節減となった（ただし、89誌のうち59誌は、それぞれ関係部局の予算で購入が継続されている）。

さて、今年度の学術研究コンテンツ小委員会でも、例年にしたがって、各部局より共通経費による購入の希望が出ていた電子ジャーナル、学術文献データベースについて、審議の結果、新たに購入するコンテンツを決定したが、併せて、昨年度の方針に従い「利用度が極めて低い」ものについては共通経費での購入を中止して、経費節減を継続することとした。昨年は利用実績がゼロのものを中止したが、今年はこの幅を少し広げ、原則として2005年の利用実績が5件までのものについて購入を中止することを決定した（99誌が対象、節減額は約1015万円）。そしてこの案は、図書館委員会（6月20日開催）においても了承された。

5件の利用があったのであれば、図書館としてはその学術資料を継続して購入するのが使命ではないか、という意見があり得るだろうことは承知している。こうした決定に至ったのは、上述してきた経費の問題があるのは言うまでもないが、それと併せて、学術研究コンテンツの共通経費化した以上、それぞれのコンテンツの共通的な利用という点を考慮せねばならないことをご理解いただきたい。というのは、例年、部局からの希望を受け、その中から共通経費による電子ジャーナルの新規購入を決定する際には、利用実績や、複数部局での利用などの条件がかなり高めに設定されており、最初の平成15年度に共通経費化された従来までのコンテンツと新規購入コンテンツとの間で、共通的な利用度の面において、整合性を持たせる必要があるからである。年間5件の利用件数ということは、1年間を通して2か月に1回にも満たない利用頻度ということであり、全体の予算が逼迫している中、利用度の点から言ってそうした電子ジャーナルを「共通」経費の名目でまかなうには難がある、というのが学術研究コンテンツ小委員会の判断である。年間利用が5件以下であっても必要なコンテンツであるのならば、（大学全体の共通経費の枠でなくとも）部局の予算で購入を継続することも可能なのであるから。

4. 今後の対策

しかしながら、こうした利用実績の面から節減をはかるだけでは事態が解決しないのは明らかである。また、共通経費で購入するコンテンツの見直しをはかるにしても、単に利用件数のみを基準とするのはせいぜい5件までが限度であり、今後再見直しをするには、各電子ジャーナルの刊行頻度や、利用1件あたりのコスト、文系と理系での電子ジャーナルの利用の仕方の違いなど様々な条件を勘案する必要があることも、学術研究コンテンツ小委員会で確認されている。つまりは、当然のことながら、節減は一

定程度までは必要であるにせよおのずと限界があり、今後の学術研究コンテンツの経費増大に対して大学全体として対応措置を講ずる必要があるということである。

学術研究コンテンツは大学の生命線である。そしてその利用環境は大学全体に開かれていなければならない。北大が学術研究コンテンツの経費を大学の共有財産として共通化した原則を

今後どう維持してゆくか。学術研究コンテンツ小委員会は、そのための検討作業を夏以降本格化させてゆく予定であるが、事はこの小委員会だけの問題ではなく、大学全体に関わっている。北大の学を担う各研究者におかれても、個々が利用されるコンテンツと同時に、北大の学術研究コンテンツ全体が現在置かれているこうした状況についても、併せて思いを馳せていただければ幸いである。

全学教育新カリキュラムにおける北分館の役割 ——新入生の北分館入館者数の増加について——

附属図書館副館長・北分館長 大平 具彦

周知のように、平成18年度入学者より全学教育は新カリキュラムのもとで行なわれている。新カリキュラムの策定にあたっては、いくつかの基本方針が立てられたが、その中の重要な柱として、「各学期に履修単位数の上限を設けるなど、単位の実質化、授業の高品質化をはかる」という方針があった。あらためて確認しておけば、各授業にはそれぞれ単位数が付されているが、この単位とは、授業本体の聴講に加えてその前後に一定時間の予習・復習を含めて設定されているものである。ところが従来までは、学生は早くに多くの単位を取得しようとして、勢い時間割が過密化し、予習・復習も不十分なまま授業に追われ、授業そのものが不消化に終わってしまう傾向が強かった。すなわち、「履修単位数の上限設定」とは、これまでのこうした傾向を是正し、学生が十分な予習と復習の時間をとって授業を履修するために採られた措置である。

であれば、時間割に余裕のできた新1年生は、当然その空いた時間を図書館（北分館）で予習・復習に充てることになるだろう。そうでなければ、それをただ自由時間として気ままに過ごしていることになる……。ということで、この4月からの新入生の北分館入館者数は、例年とちがった特別の意味もっていた。つまり、今回の入館者数は、上記の上限設定が有効に働いているかどうかを計るバロメーターだったわけである。

さて、調査の結果、今年4月5月の1年生の入館者数（閲覧室入館者、延べ数）を昨年と比べると、以下の通りであった。

	4月入館者数	5月入館者数	合計
2006年度 1年生	12,661人	18,357人	31,018人
2005年度 1年生	7,868人	17,104人	24,972人

4月の新入生入館者数が昨年に比べ大きく伸びたのは、これまでの案内に加え、新たに新入生全員に向けて作成し配布した北分館の宣伝パンフレットの効果がかなりあったものと思われるが、ご覧の通り、昨年と比べて、両月で24.2%、比較的落ち着いてきた5月でも7.3%の増加である。このデータから見る限り、履修単位の上限設定は、はっきりと効果を表わしていることがわかる。

上記の数は閲覧室入館者だが、閲覧室以外を含む全体の入館者数も、4月5月の合計で、2005年度が89,470人だったのに対し、2006年度は97,787人へと大幅に増えている。この数は、新入生を含む入館者全員のものであるが、その増加の中核はやはり新入生が占めているものと推定される。

ところで、この全体入館者数の伸びは、昨年度に行なった改修工事が大きく与えていると考えられ

(新入生は改修前を知らないので関連はないのだが)，北分館では，去る5月21日に，昨年度も在学していた学部2年生以上の学生(学部生，院生)に対し，北分館改修についてアンケートを行なった。細かい点は省略するが，回答数92(配布数100)のうち，新しくなって「すごくいいと思う」および「いいと思う」が80(87%)に達した。自由意見では，机やパソコンなど設備の充実を望む声が散見されたが，これは今後の課題である。

北分館は，全学教育への支援と教養図書資料の整備とを二大任務としているが，今回の1年生の入館者数調査で，当館が全学教育と深く結びついていることがあらためて確認された。今回は，いわば，施設(ハード)面での学習支援機能であったが，全学教育への支援の根幹が図書資料の整備にあることは言うまでもない。現在，北分館では，新入生向け(1，2年次学生向け)の教養図書資料の充実をはかるために，「本は脳を育てる——北大教員による新入生への推薦図書」という企画を実施しているが，これはその一環である。ゆくゆくは全学教育カリキュラムとの関連を一層深め，図書整備をより体系的に行なってゆきたいと考えている。

寄贈資料紹介

中村泰三氏寄贈図書について

スラブ研究センター 助教授 兎内 勇津流

中村泰三氏は、日本では数少ない、ロシア・旧ソ連・東欧地域の地理の専門家である。1933年大阪市生まれ、大阪市立大学文学部を卒業し、同大学大学院修士課程を修了された後、数年市立高等学校に勤務されたが、以後長く同大学に勤務なされ、1996年に定年退職された以後は、大阪経済法科大学教授、ついで1999年からは京都女子大学教授となり、本年3月まで勤務なされた。

この間、『現代のソビエト世界』（地人書房、1983年）から『CIS諸国の民族・経済・社会』（古今書院、1995年）に至る単著6冊を上梓したほか、共著、翻訳、論文等多数の仕事があり、長くこの分野の第一人者でおられた。また、スラブ研究センターにおいては、1992年度から2年間、客員教授を務めていただいたことがある。

そのお持ちの資料を本学附属図書館に寄贈したいというお話を伺ったのは、一昨年夏に原暉之教授（現名誉教授）を通じてのことであった。リストを用意してくださっているとのこと、早速、原教授と一緒に拝見し、検討させていただいたところ、旧ソ連・東欧の地理と経済、特に前者において本学には所蔵しない資料が多く含まれ、今や北大の特色と言って良いであろうロシア・東欧関係コレクションを補う価値が高い、と判断された。そこで、附属図書館にその取扱いについてご相談申し上げたところ、附属図書館本館資料との重複本を除いた上で、コレクションとして一括して収蔵できるということで、ご了解いただくことができた。これを受けて昨年7月に資料が搬入され、重複調査、受入、整理を経た1,751冊が本年3月に本館西書庫4階の大型コレクション室に納まったという次第である。

本コレクションを特徴づけるものとして、戦後にソ連で出版された地理関係露語文献がかなりの程度まとまっている、ということがある。こうした地理関係のコレクションは、もともと専門家が多くないこともあって、収集されていることが少ない。中村氏のコレクションは、特定の地域に集中するのではなく、多様な地域に目配りされている上、東欧のものも収められていることに、中村氏の仕事の幅広さを感じる。もう一つ特徴に挙げたいのは、地図が多く含まれることである。一枚ものと地図帳を合わせて全部で100点近くに達し、モスクワやペテルブルクはもちろん、キシニョフ、ヤルタ、サマルカンド、アシハバード、リガ、ヴィリニユスなど多くの地方都市の地図を含んでいる。

本学附属図書館の地理関係のコレクションとしては、ロシア領アメリカの専門家だったジェームス・ギブソンのコレクションが際立つが、この歴史地理／人文地理的なコレクションに加えて、経済地理的要素の強い中村泰三氏のコレクションを収蔵することは、本学のロシア・東欧研究の将来にとって大きな助けとなるに違いない。また、ソ連経済に関しては、これまでグレゴリー・グロスマン氏と野々村一雄氏の旧蔵書を購入してその欠を補ってきたが、この分野もさらに充実させることができた。

また、これとは別にスラブ研究センターでは、本年、中村泰三氏より1000万円の寄付をいただいたことを紹介しておきたい。1987年以降、センターには故鈴川正久氏の寄付による2000万円の基金をもとにした鈴川基金奨励研究員制度があり、毎年数人の道外の主に大学院博士課程に在籍する若手研究者を受け入れてきたが、おおむね2～3週間程度の滞在期間中に彼らが第一に集中して取り組むことは文献の収集であることが多い。若手研究者にとっては、ごく短期間とはいえ、組織的に収集された資料を縦横に利用する機会が提供されるわけであるが、中村氏はこのことが地域研究の水準向上のため

めに果たす役割を高く評価してくださり、その事業の発展のために、基金の追加拠出を申し出られたのである。

想像するにおそらく中村泰三氏は、ソ連・東欧地域の地理研究を行う上で、基本的文献資料の蓄積の問題の多くを、個人的に文献を収集することによって解決してこられたのであろう。しかし、研究者個人の力によってできる文献収集には限界がある。地域研究の水準向上のためには、これを制度的ないし組織的に支える必要があるということで、その素質を持った機関として、本学をその資料の寄贈先として選ばれたのではないだろうか。センターとして、そうした中村氏の負託に応えるような活動を継続する責務を感じているところである。

また、本コレクションの受入について理解と協力をいただいた附属図書館関係者に感謝申し上げるとともに、2004年7月に図書館業務の統合を果たした部局として、附属図書館との協力関係が今後とも有機的に展開し続けることを念じている。



ロシア・東欧各地の一枚もの地図



ボスニア・ヘルツェゴヴィナの文化遺産を扱う雑誌“Naše starine”。本文庫は、10号（1965年刊）より16/17合併号（1984年刊）までを収蔵する。

お知らせ

来館日誌

(平成18年3月～6月)

No.	来館者	来館日	時間	人数	備考
1	大原医療福祉専門学校生徒	4月12日(水)	16:00-17:00	10	
2	北海道八雲高等学校生徒	4月25日(火)	13:20-14:20	20	
3	北大生ボランティアの企画による一般市民を対象とした北大構内5ヶ所のクラーク像見学ツアー参加者	5月13日(土)	10:20-10:40	8	北大沿革資料室見学
4	北海道ハイテクノロジー専門学校看護学科14期生	6月30日(金)	14:00-15:30	35	
	計			73	



北海道ハイテクノロジー専門学校看護学科14期生

中村総長，遠藤事務局長が改修後の北分館を視察

さる4月18日に中村睦男総長と遠藤啓事務局長が改修された北分館を視察されました。

北分館は老朽化が進み，環境整備が強く望まれてきましたが，平成17年度総長重点配分経費（「キャンパスの充実に関する事業」および「教育用設備」改善）により，改修工事が実現し今年3月31日に無事終了したことにともなう視察であります。

両氏は，逸見図書館長，大平北分館長の説明のもと，30分ほどの時間の中で熱心に明るくなった閲覧室をご覧になりました。

中村総長は旧教養分館時代から北分館を利用していた経験から，明るさが一新され，通風音も静かになった北分館について「大変明るくなりました。学生諸君も利用しやすくなったでしょう」と視察後に感想を述べられました。

館員一同，新しく生まれ変わった北分館をこれまで以上にご利用していただくことを心より願っております。



2階閲覧室を視察する
中村総長(左端)，遠藤事務局長(右端)



大平北分館長(中央)の説明でレーン文庫を視察する中村総長(右端)，遠藤事務局長(左から二人目)

HUSCAP（北海道大学学術成果コレクション）の現況

1. HUSCAP（北海道大学学術成果コレクション）の正式公開

本誌122号でお知らせした通り、平成18年4月からHUSCAP（北海道大学学術成果コレクション）を正式公開しました。HUSCAPは、本学の研究者や大学院生等が著した学術論文、学会発表資料、教育資料等を保存・公開する電子コレクションです。



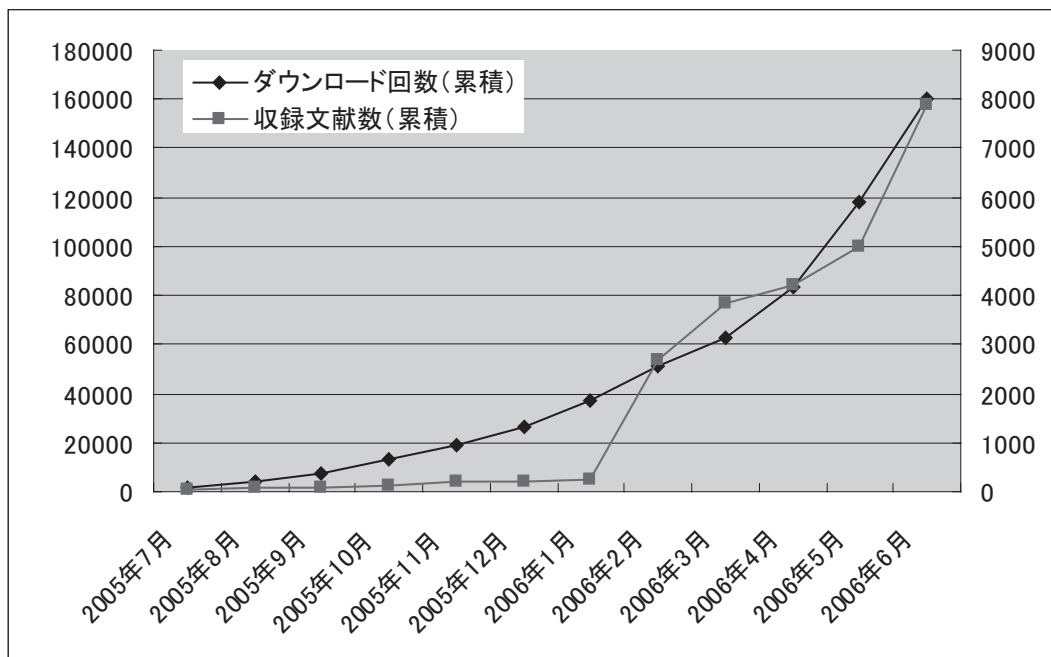
HUSCAP <http://eprints.lib.hokudai.ac.jp/>

平成18年6月26日現在、HUSCAPには8,095編の文献が収録されており、実験運用開始の平成17年7月以来の通算ダウンロード（閲覧）数は173,238回となっています。

ドメイン別ダウンロード数（上位） (回)

com	57,456	hokudai.ac.jp	5,713
ne.jp	20,369	or.jp	3,561
uk	20,128	ad.jp	1,663
net	14,138	edu	1,178
co.jp	5,879	go.jp	876

次ページに、HUSCAPの収録文献数とダウンロード回数の推移を示します。



HUSCAPの収録文献数とダウンロード回数の推移 (右軸：収録文献数 左軸：ダウンロード回数)

2. 研究紀要等電子ジャーナル化支援プロジェクト

また、附属図書館では、学内で刊行される研究紀要・テクニカルレポート等についても、各刊行元との協力に基づき、HUSCAPシステムを用いた電子ジャーナル化をすすめています。以下に現在HUSCAPで閲覧可能となっている出版物を紹介します。

「研究紀要等電子ジャーナル化支援プロジェクト」参加誌一覧 (平成18年6月現在)

- ・ Journal of the Graduate School of Letters (文学研究科)
- ・ 教授学の探求 (教育学研究科教育方法学研究室)
- ・ 北大法学論集 (法学研究科)
- ・ Economic Journal of Hokkaido University (経済学研究科)
- ・ 経済學研究 (経済学研究科)
- ・ Discussion Paper シリーズA・B (経済学研究科)
- ・ Journal of the Faculty of Science. Series 7, Geophysics (理学研究院)
- ・ 講究録 (理学研究院数学専攻)
- ・ Journal of the Graduate School of Agriculture (農学研究院)
- ・ Insecta Matsumurana (農学研究院昆虫体系学教室)
- ・ 大学院農学研究科邦文紀要 (農学研究院)
- ・ 農經論叢 (農学研究院農業経済学教室)
- ・ Japanese Journal of Veterinary Research (獣医学研究科)
- ・ 衛生工学シンポジウム論文集 (北海道大学衛生工学会)
- ・ 低温科学 (Low Temperature Science) (低温科学研究所)
- ・ 電子科学研究所技術部技術研究報告集 (電子科学研究所)
- ・ Acta Slavica Iaponica (スラブ研究センター)

- ・スラヴ研究 (Slavic Studies) (スラブ研究センター)
- ・農場研究報告 (北方生物圏フィールド科学センター)
- ・北海道大学農学部附属農場技術業務報告 (農学部附属農場)

「研究紀要等電子ジャーナル化支援プロジェクト」では、平成18年度も参加誌の募集を計画しています。詳細については秋以降にご案内します。刊行物の電子ジャーナル化を検討されている研究科、専攻、講座、学内学会の方で、本プロジェクトに関心・質問などありましたら附属図書館宛 (repo@lib.hokudai.ac.jp) に電子メールでご照会ください。

3. HUSCAPへの著作文献ご提供のお願い

HUSCAPでは、学内の研究者・大学院生のみなさまの著作文献 (学術雑誌掲載論文、学会発表予稿・スライドなど) のご提供をお待ちしています。

研究論文を、HUSCAPのようなシステムを通じて無料オンライン公開すると、より多くの研究者の方々の目に触れることになり、

- ・計算機科学分野では平均被引用回数が2.6倍

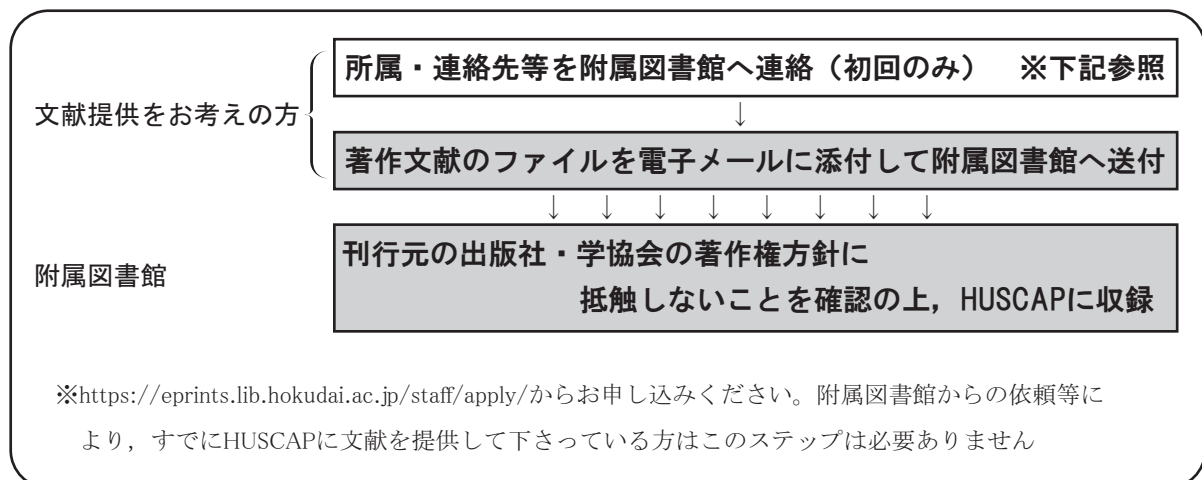
<http://citeseer.ist.psu.edu/online-nature01/>

- ・物理学分野では平均被引用回数が5.6倍

<http://www.dlib.org/dlib/june04/harnad/06harnad.html>

となる、という調査報告もされています。ぜひ、著作文献のHUSCAPからの公開についてご一考ください。

HUSCAPへの文献提供は、電子メールで送るだけ

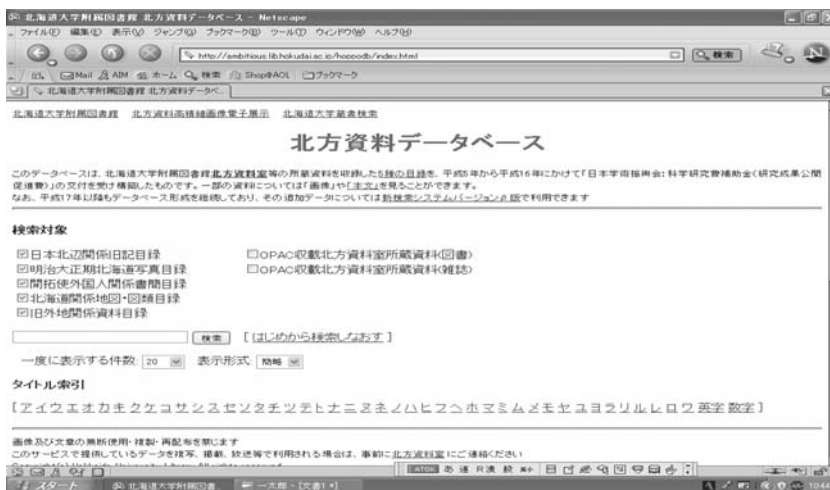


「北方資料データベース」、 「北海道大学北方関係資料総合目録 (β版)」 の紹介と追加データベースのお知らせ

「北方資料データベース」【図1】は、北海道大学附属図書館北方資料室等の所蔵資料を収録した5種の目録を、平成5年から平成16年にかけて「日本学術振興会：科学研究費補助金（研究成果公開促進費）」の交付を受け構築したものです。一部の資料については「画像」や「本文」を見ることができます。

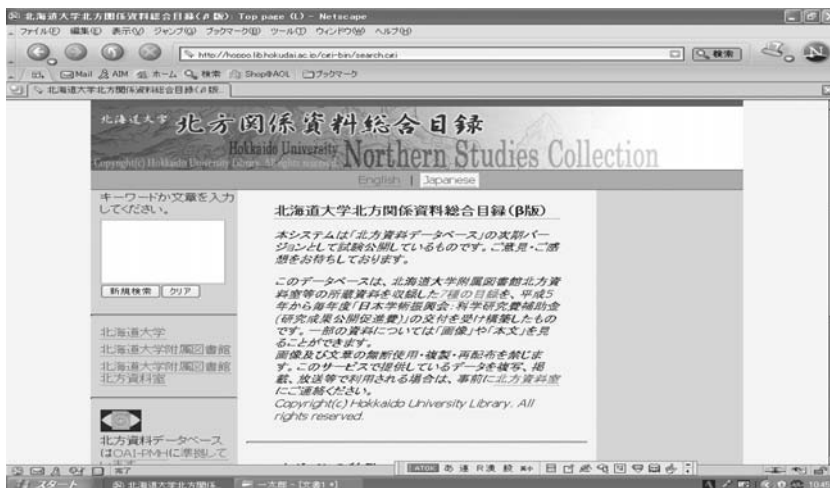
なお、平成17年以降も科学研究費によりデータベース形成を継続しており、その追加データについては新検索システム「北海道大学北方関係資料総合目録 (β版)」【図2】で利用できます。

【図1】 「北方資料データベース」



* 「北方資料データベース」は、目録項番1～5の目録で構成しています。目録項番6, 7は収録していません。(「北海道大学北方関係資料総合目録 (β版)」で検索願います。)
* 目録頁番号は次頁を参照下さい。

【図2】 「北海道大学北方関係資料総合目録 (β版)」



* 「北海道大学北方関係資料総合目録 (β版)」は、目録項番1～7の目録で構成しています。
* 「北方資料データベース」で公開している全面像データを「北海道大学北方関係資料総合目録 (β版)」に取込中です。組込完了まで、「北方資料データベース」と併用検索ください。

* 「北海道大学北方関係資料総合目録 (β版)」は「北方資料データベース」の次期バージョンとして試験公開しているものです。ご意見・ご感想をお待ちしております。
(お問い合わせは北海道大学附属図書館情報システム課<js@lib.hokudai.ac.jp>へお願いします。)

「北方資料データベース」、 「北海道大学北方関係資料総合目録（β版）」 構成の
各目録の収録内容について

目録項番： 1 / 1	日本北辺関係旧記目録（写本類 約 4,500冊）
江戸時代のいわゆる蝦夷地関係旧記（写本，木版本），および明治期の北海道・樺太・千島等に関する稿本・写本資料。この中には貴重本・稀こう書に類するものが少なくない。また，木村謙二・奥平家・菊地重賢・白石家・松浦武四郎・米田和一等の個人資料のほか，北海道庁寄託写本（新撰北海道史編集資料）も含まれている。	

目録項番： 1 / 2	場所請負人旧家文書（簿冊 850冊，一枚物 3,700点）
江戸時代から明治初年にかけて北海道の経済に大きな影響をもっていた場所請負人旧家の文書。村山・伊達・佐藤・武川・藤野・笹浪・田村などの諸旧家の文書がある。それぞれについて仮目録もある。	

目録項番： 2	明治大正期北海道写真目録（北海道関係写真 約 5,000枚）
その多くは開拓使および北海道庁が行政の必要のために撮影した明治期の写真であるが，北海道開拓の記録写真としてばかりでなく，写真史的にも非常に貴重なものといわれている。	

目録項番： 3	開拓使外国人関係書簡目録（開拓使外国人関係書簡 約 5,000通）
明治初年に御雇外国人その他の外国人から開拓使に送られた報告書や書簡のコレクション。そのほとんどは自筆書簡である。	

目録項番： 4	北海道関係地図・図類目録（地図・図類 約 5,000枚）
蝦夷地の古地図が系統的に収集され，また開拓使時代の手書原図を多数含む。明治以来の北海道の地形測量図もほとんど揃っている。図類にはアイヌ絵・書画・開拓使時代の建造物図面などがある。	

目録項番： 5	旧外地関係資料目録（地図・雑誌・新聞・パンフレット 約 6,800点）
かつて「外地」と呼ばれていた頃の朝鮮，台湾，満州，南洋群島関係の資料。明治以降昭和20年までの期間に刊行された図書，雑誌，新聞，パンフレット類を収録している。	

◎平成17年度科学研究費補助金で作成した，以下2点の目録は「北海道大学北方関係資料総合目録（β版）」に収載しました。

目録項番： 6	北海道資料パンフレット（約8,600点）（カード目録より作成）
目録項番： 7	高倉文庫パンフレット（約2,900点）（カード目録より作成）
一般に整理の難しい小冊子（約100頁に満たない出版物）を，数点から数十点をまとめ一冊に製本し保存している。その中には主に北海道関係の「報告書，実態調査，市町村勢一覧，論文別刷，その他」他の図書からは得られない情報を含む資料が多く含んでいる。	

北海道大学附属図書館講演会(平成17年度第2回)が開催される

平成18年3月3日(金)北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟において、平成17年度第2回北海道大学附属図書館講演会が開催されました。

講演会は本学図書館委員会学術成果発信小委員会委員長 医学研究科教授 櫻井恒太郎教授のコーディネートのもとで道内国公私立大学(一部道外国立大学)および学内の教員を含む75名の参加がありました。

はじめに、国立情報学研究所開発・事業部長の安達淳教授から「最先端学術情報基盤の構築にむけて—CSI事業の概要—」と題して、大学・研究機関の研究成果を超高速ネットワークを通して、自在に連携・活用するための我が国のインフラ整備の事業のひとつである「最先端学術情報基盤(CSI)プロジェクト」の全体像について講演がありました。

つづいて国立情報学研究所開発・事業部コンテンツ課 尾城孝一課長から「機関リポジトリと国立情報学研究所の取り組み」と題して、機関リポジトリをめぐる国内外の最新動向をレビューしていただき、また国立情報学研究所の最先端学術情報基盤(CSI)構想における機関リポジトリ支援活動についての現状と将来を展望する内容の講演がありました。

次に、本学理学研究科 栃内新助教授から「研究者にとっての学術情報—アクセス、発信、保存—」と題して講演がおこなわれ、研究者はインターネット時代の図書館(員)に何を望むか、また個々の研究者が所有するオリジナルな学術情報を所属機関が保存・発信し、世界中の誰でもが無料でアクセスできる仕組みになれば、科学が人類に共有される一歩に近づける。そのひとつである本学の学術成果コレクション:HUSCAPの構築に大きな期待を寄せていると励ましをいただきました。

その後、附属図書館加徳情報システム課長から北海道大学学術成果コレクション:HUSCAPの事例を中心に、これまでの取り組みと活動内容が報告されました。

最後に講演者と参加者による活発な質疑応答や意見交換がおこなわれました。参加された教員からは、今後も今回のような学内教員と連携した講演会の企画を望む声が寄せられました。



国立情報学研究所開発・事業部長 安達 淳 教授



国立情報学研究所開発・事業部コンテンツ課長 尾城孝一氏



大学院理学研究科生物学専攻 栃内 新 助教授

経済学研究科・経済学部図書室が移転しました

経済学研究科・経済学部図書室は、平成18年3月28日に、当研究科研究棟の西側1階に移転し、開室しております。これは、平成17年度に2期に分けて行われた当研究科研究棟の改修工事に伴うもので、図書室は研究棟2階から1階に移転することになりました。

新しい図書室は以前の図書室とほぼ同じ広さで、書庫は約半分の面積になっております。図書室の書架の配置は以前と大幅な変更はありませんが、以前の図書室では利用者用書架と事務用書架がはっきりしない部分がありましたので、この機会に区分を明確になるように配置いたしました。また、書架の一部とカウンターを新しくし、床はカーペット張りになりました。窓際には、利用者用パソコンとテレビデオを1台ずつ配置し、北大で提供する様々な電子ジャーナルやデータベース、CD-ROMなどの電子資料、ビデオなどの視聴覚資料の利用が可能となっております。



当図書室には、経済学・経営学・会計学とその周辺分野に関する雑誌、新聞、白書・年鑑、参考図書、会計専門職大学院図書、視聴覚資料、学位論文、マイクロフィルム等を所蔵しております。そのうち、学位論文、マイクロフィルム、新聞のバックナンバーは、別室の書庫に保管してあります。また、雑誌、白書・年鑑等は2～3年分を当図書室で保存しており、それ以前のバックナンバーの多くは附属図書館書庫にあります。なお、当研究科の一般の研究書は、図書室にはなく、附属図書館書庫もしくは教員研究室にあります。

「会計専門職大学院図書」のコーナーは、当研究科に会計専門職大学院を設置した際に設けたものです。今回の引越に伴い、図書室の入口側に移転し、利用しやすくなりました。こちらには、会計専門職に必要な専門知識を身につけるための基本的な図書を揃えており、貸出いたしております。

当図書室の開室時間は、平日の午前9時から午後5時15分までです。機会がありましたら、どうぞご利用ください。

(経済学研究科・経済学部図書係)

(シリーズ 1)

附属図書館北方資料室資料紹介

北方資料室をご案内します

北方資料室は、附属図書館の4階の奥にある小規模な資料室です。しかし、所蔵資料の特殊性から、国内はもとより、国外からも研究者や郷土史家、見学者の来室が大変多い資料室です。平成17年の利用者(3,686人)のうち、42%(1,558人)は学外者で、資料の閲覧冊数(11,708冊)に至っては、学外者の利用が全体の55%(6,448冊)を占めています。また、所蔵資料の多くが、古地図・古写真・写本・開拓使時代の公文書や書簡といった貴重資料であることも、北方資料室の大きな特色のひとつです。先号で紹介しました総合博物館の企画展示「カラフト展」の展示資料も含め(「楡蔭」No.122)、多くの研究者や見学者をひきつける資料とはどのようなものなのでしょうか。ご一緒に様々な資料を眺めてみませんか。

「ソラマメではありません、北海道です」——元禄国絵図(元禄郷帳附図)

北方資料室に入ると、まず一番に飛び込んでくる絵図がこれです。見学の方が資料室で一番長く足を止める場所は、ここかもしれません。およそ北海道(蝦夷)とは思われない精度の低い絵図ですが、その名のとおり、元禄時代に松前藩が江戸幕府に提出した郷帳(米の石高を記す)の附図として作成した国土地図です。但し、郷帳といっても、他の諸藩のものとは違い、米の生産がないため石高が全く記載されていない地名だけの冊子の附図ですから、あまり関心を持たれなかったのでしょうか。他国の国絵図と比べると見劣りがするような気がします。しかし、交通の要所は正確に記されており、北方に樺太、東方に千島列島が書き込まれていることから、当時の松前藩の領土意識を探ることができる貴重な絵図です。松前藩は、正保期にも同類の国絵図を提出しており、現地調査をもとにした地図のうち、現存するものでは、国絵図が最も古い北海道図だといわれています。



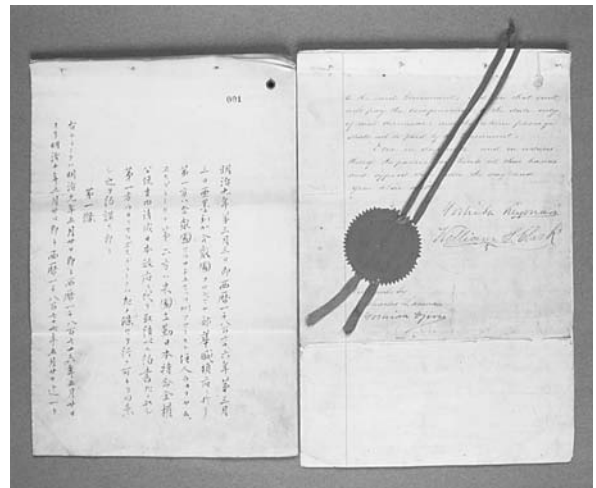
正本の十分の一の模写
(原図は関東大震災で焼失)

「オジーサンカラモキイタコトガアリマセン」——W. S. クラーク博士の契約書と肖像画

アメリカ国務省広報室官が来室したとき、偶然、その方の祖父がマサチューセツ農科大学アマスト校に学んだことがわかりました。“Boys be ambitious”で有名な初代教頭W. S. クラーク博士は、アマスト校の学長だった人です。ところが、博士の契約書と肖像画を前にして、広報室官は初めてその名前を知ったと驚いていました。クラーク博士は、日本政府に請われて1年間学長の職を離れ、札幌農学校の教頭としてアマストから赴任しました。その後わずか8ヶ月ほどで札幌を離れ、二度と戻ることはなかったのです。それにもかかわらず、我が国では有数の教育者として全国的に知られています。しかし地元では、アマスト校の学生ですらその名を知らないとは意外なことと感じられました。クラーク博士は“Be ambitious”の他に、“Be gentleman”という言葉も農学校に残していきました。その言葉を伝えるように、博士が学生ひとりひとりに手渡したという聖書も一緒に展示されています。



クラーク未亡人から第1期生の佐藤昌介札幌農学校長に贈られたクラーク博士の肖像画
明治36年（1903年）頃



クラーク博士契約書
(教頭及び、農業、化学、数学、英語教授として雇傭)
明治9年（1876年）

教員著作寄贈図書

(平成18年3月1日～6月22日)

寄贈者	所属部局	寄贈図書	所在
亀井 秀雄	名誉教授	Transformations of sensibility : the phenomenology of Meiji literature / Kamei Hideo ; translation edited and with an introduction by Michael Bourdaghs - Ann Arbor : Center for Japanese Studies, University of Michigan , 2002 (Michigan monograph series in Japanese studies ; no. 40)	本館・開架閲覧室
長尾 輝彦	文学研究科・文学部	Nitobe Inazo: From Bushido to the League of Nations. / edited by Teruhiko Nagao - Graduate School of Letters, Hokkaido University, 2006	本館・開架閲覧室
津田 芳郎	文学研究科・文学部	訳注「名公書判清明集」戸婚門：南宋代の民事的紛争と判決 / 高橋芳郎著. 一創文社, 2006. 2	本館・開架閲覧室
菊池 俊彦	文学研究科・文学部	サハリン北方先住民族文献集 文芸作品篇 1905-45 / 青柳文吉編; 菊池俊彦序. 一北海道大学大学院文学研究科, 2006	本館北方・樺太
佐々木 亨	文学研究科・文学部	『北海タイムス』掲載のサハリン及び北海道先住民族に関する記事データベース (1926. 12. 25-1935. 12. 31) / 田口正夫編; 佐々木亨監修. 一北海道大学大学院文学研究科, 2006	本館北方・樺太
葛西 康子	教育学研究科・教育学部	青年期を生きる精神障害者へのケアリング：縦断的narration分析をととして / 葛西康子著. 一北海道大学出版会, 2006. 2	本館・開架閲覧室
法学研究科 学術創成研究 プロジェクト	法学研究科・法学部	市民社会民主主義への挑戦：ポスト「第三の道」のヨーロッパ政治 / 山口二郎, 宮本太郎, 小川有美編; 山口二郎[ほか]著. 一日本経済評論社, 2005. 12	本館・開架閲覧室
但野 利秋	名誉教授	中国山岳地帯の森林環境と伝統社会 / 出村克彦, 但野利秋著. 一北海道大学出版会, 2006. 3	本館・開架閲覧室
出村 克彦	農学研究科・農学部		
三島 徳三	農学研究科・農学部	思い出の遠友夜学校 / 札幌遠友夜学校創立百年記念事業会編. 一新装普及版. 一北海道新聞社, 2006. 3	本館・開架閲覧室 分館・開架一般図書
津田 一郎 佐藤 譲	電子科学研究所	水滴系のカオス / ロバート・ショウ著; 佐藤譲, 津田一郎訳. 一岩波書店, 2006. 5	本館・開架閲覧室 分館・開架一般図書
斎藤 元秀	スラブ研究センター	ロシアの外交政策 / 斎藤元秀著. 一劉草書房, 2004. 4	本館・開架閲覧室

ご惠贈誠にありがとうございました。
図書館では本学教員が執筆した図書資料を収集しています。新たに本を出版される際には、是非ご惠贈くださるようご協力お願い致します。また、北京大学図書館との相互交流および協力に関する覚書の締結に基づき、北京大学との交換用にもう1冊分、ご寄贈いただけますようご協力をお願い致します。とりまとめは、附属図書館で行います。

教員著作寄贈文献

(平成18年4月1日～6月22日)

140名の先生から、244件のご著作論文等を寄贈いただきました。

HUSCAP: 北海道大学学術成果コレクションにて保存・公開しています。

なお、研究紀要等電子ジャーナル化支援プロジェクトにより、この期間、新たに4研究科等の5タイトル、3,702件の紀要文献がHUSCAP上で公開されています。

HUSCAPについて詳しくは本誌11～13ページ及び、<http://eprints.lib.hokudai.ac.jp/>をごらんください。

ご惠贈誠にありがとうございました。
図書館では本学教員が執筆した著作の原稿ファイルを収集し、HUSCAPにて保存・公開しています。新たに論文等を発表された際には、是非ご惠贈くださるようご協力お願い致します。

平成17年度 図書館統計

蔵書冊数・雑誌所蔵種類数 (平成17年度)

区 分	蔵書冊数 (18. 3. 31現在)			図書受入冊数			雑誌所蔵種類数 (18. 3. 31現在)			雑誌受入種類数		
	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計
附属図書館	872,869	762,303	1,635,172	16,476	20,574	37,050	21,927	14,255	36,182	4,552	2,264	6,816
法学研究科・法学部	(6,859)	(4,617)	(11,476)	(2,432)	(4,102)	(6,534)	(771)	(464)	(1,235)	(724)	(421)	(1,145)
経済学研究科・経済学部	(11,181)	(7,848)	(19,029)	(1,103)	(1,229)	(2,332)	(1,379)	(415)	(1,794)	(1,145)	(310)	(1,455)
教育学研究科・教育学部	(35,134)	(8,564)	(43,698)	(1,798)	(524)	(2,322)	(1,811)	(339)	(2,150)	(1,111)	(139)	(1,250)
公共政策学連携研究部	(106)	(60)	(166)	(151)	(137)	(288)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
スラブ研究センター	(4,594)	(78,664)	(83,258)	(360)	(6,898)	(7,258)	(142)	(1,325)	(1,467)	(73)	(428)	(501)
北分館	207,572	112,097	319,669	7,194	2,450	9,644	1,329	818	2,147	279	126	405
言語文化部	(14,905)	(24,427)	(39,332)	(536)	(813)	(1,349)	(86)	(186)	(272)	(31)	(65)	(96)
高等教育機能開発総合センター	(10,336)	(3,753)	(14,089)	(256)	(43)	(299)	(118)	(99)	(217)	(19)	(22)	(41)
国際広報メディア研究科	(709)	(717)	(1,426)	(1)	(13)	(14)	(86)	(49)	(135)	(62)	(33)	(95)
文学研究科・文学部	166,161	156,256	322,417	5,326	2,822	8,148	3,083	1,706	4,789	1,304	450	1,754
理学研究科・理学部	33,258	159,392	192,650	212	1,794	2,006	621	2,908	3,529	186	492	678
医学研究科・医学部	81,381	123,273	204,654	939	2,659	3,598	3,086	2,585	5,671	885	581	1,466
歯学研究科・歯学部	21,449	20,312	41,761	778	408	1,186	650	572	1,222	307	132	439
薬学研究科・薬学部	6,700	18,232	24,932	163	388	551	129	307	436	77	69	146
工学研究科・工学部	149,942	141,381	291,323	1,226	890	2,116	2,470	2,727	5,197	681	312	993
農学研究科・農学部	154,477	112,389	266,866	1,231	648	1,879	4,172	3,012	7,184	1,132	548	1,680
獣医学研究科・獣医学部	10,461	25,901	36,362	94	156	250	484	914	1,398	123	145	268
水産科学研究院・水産科学院・水産学部	83,821	58,549	142,370	754	612	1,366	2,803	2,265	5,068	928	509	1,437
地球環境科学研究院	8,740	8,277	17,017	331	158	489	253	316	569	85	27	112
情報科学研究科	2,229	1,748	3,977	24	5	29	195	248	443	94	191	285
低温科学研究所	11,774	25,937	37,711	78	236	314	732	849	1,581	273	210	483
電子科学研究所	5,409	20,751	26,160	46	215	261	378	456	834	49	35	84
遺伝子制御研究所	1,002	7,058	8,060	4	256	260	19	118	137	9	61	70
触媒化学研究センター	3,101	13,892	16,993	9	133	142	58	245	303	6	24	30
総合博物館	2,293	1,666	3,959	583	23	606	62	129	191	8	4	12
北方生物圏フィールド科学センター	0	0	0	0	0	0	2	73	75	0	33	33
創成科学研究機構	0	0	0	0	0	0	12	39	51	12	0	12
医療技術短期大学部	31,340	4,478	35,818	950	98	1,048	749	145	894	362	54	416
計	1,853,979	1,773,892	3,627,871	36,418	34,525	70,943	43,214	34,687	77,901	11,352	6,267	17,619

()の数字は内数

利用状況 (平成17年度)

本館開館日数・入館者数

区 分	本 館								
	開架閲覧室		書庫(内数)		参考閲覧室		北方資料室(内数)		
	日 数	人 数	日 数	人 数	日 数	人 数	日 数	人 数	
平 日	日 中	242	282,216	242	22,409	242	30,177	242	3,686
	夜 間	205	102,007	205	4,570	—	—	—	—
土・日・休	日 中	112	68,958	112	4,312	—	—	—	—
	夜 間	96	16,743	96	758	—	—	—	—
計	354	469,924	354	32,049	242	30,177	242	3,686	

入館者内訳

区 分	本 館			
	開架閲覧室	書庫(内数)	参考閲覧室	北方資料室(内数)
	人 数	人 数	人 数	人 数
学部学生	191,499	—	—	681
大学院生	98,159	—	—	892
教 員	9,871	32,049	—	435
職 員	3,741	—	30,177	120
放送大学生	3,961	—	—	15
一般市民	65,219	—	—	1,543
そ の 他	97,474	—	—	—
計	469,924	32,049	30,177	3,686

北分館開館日数・入館者数

区 分	北 分 館								
	CNN・新聞コーナー等		開架閲覧室		書 庫 (開架閲覧室の内数)		マルチメディア公開利用室 (開架閲覧室の内数)		
	日 数	人 数	日 数	人 数	日 数	人 数	日 数	人 数	
平 日	日 中	232	75,581	232	249,143	232	844	232	111,041
	夜 間	187	—	187	63,289	187	233	187	40,343
土・日・休	日 中	105	—	105	48,138	105	180	105	27,059
	夜 間	89	—	89	5,669	89	24	89	6,081
計	337	75,581	337	366,239	337	1,281	337	184,524	

入館者内訳

区 分	北 分 館			
	CNN・新聞コーナー等	開架閲覧室	書 庫 (開架閲覧室の内数)	マルチメディア公開利用室 (開架閲覧室の内数)
	人 数	人 数	人 数	人 数
学部学生	—	311,040	—	—
大学院生	—	28,799	—	—
教 員	—	2,906	1,281	—
職 員	75,581	6,077	—	184,524
放送大学生	—	3,936	—	—
一般市民	—	12,166	—	—
そ の 他	—	1,315	—	—
計	75,581	366,239	1,281	184,524

アスベスト除去工事による図書館閉館のための小樽商科大学学生への特別貸出含む。

期 間：平成17年11月1日～平成18年5月31日まで

利用者数：1,226人

貸出冊数：574冊

館外貸出冊数(本館)

区 分	本 館								合 計	
	開架閲覧室		書庫		参考閲覧室 (国際資料, 科研報告書)		北方資料室			
	人数	冊数	人数	冊数	人数	冊数	人数	冊数	人数	冊数
学 部 学 生	31,080	53,865	5,243	7,941	31	48	546	838	36,900	62,692
大 学 院 生	17,221	29,491	12,174	32,075	77	115	574	1,221	30,046	62,902
教 員	1,619	2,816	3,144	9,512	8	17	261	661	5,032	13,006
職 員	2,240	3,544	782	2,308	24	29	84	102	3,130	5,983
放 送 大 学 学 生	701	1,494	196	344	0	0	7	17	904	1,855
一 般 市 民	3,830	5,786	529	1,058	8	25	434	893	4,801	7,762
そ の 他	22	35	528	2,056	31	35	0	0	581	2,126
計	56,713	97,031	22,596	55,294	179	269	1,906	3,732	81,394	156,326

北分館

区 分	北 分 館				合 計	
	開架閲覧室		書庫			
	人数	冊数	人数	冊数	人数	冊数
学 部 学 生	36,420	61,256	845	1,044	37,265	62,300
大 学 院 生	7,187	13,505	920	1,914	8,107	15,419
教 員	768	1,425	213	378	981	1,803
職 員	1,729	2,653	55	80	1,784	2,733
放 送 大 学 学 生	649	1,269	9	11	658	1,280
一 般 市 民	1,599	2,469	28	45	1,627	2,514
そ の 他	3	11	67	135	70	146
計	48,355	82,588	2,137	3,607	50,492	86,195

レファレンスサービス件数

区 分	文献所在調査	事項調査	利用指導	そ の 他	合 計	
本 館	参 考	2,119	290	443	128	2,980
	北 方	653	744	347	71	1,815
北 分 館	227	4	259	15	505	
計	2,999	1,038	1,049	214	4,300	

文献複写件数・枚数及び相互貸借件数

区 分	文献複写			現物貸借	
	件 数	電子複写枚数	マイクロリーダー枚数	冊 数	
本 館	国 内	依 頼	1,918	—	774
		受 付	6,088	61,873	2,421
	海 外	依 頼	928	—	69
		受 付	164	1,499	18
北 分 館	国 内	依 頼	179	1,509	90
		受 付	206	1,931	162
計	依 頼	3,025	1,509	933	
	受 付	6,458	65,303	2,601	

3年間の利用状況

区 分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	
総 入 館 者 数	本 館	485,451	467,070	503,787
	北 分 館	495,099	475,829	441,820
館 外 貸 出 冊 数	本 館	142,522	145,175	156,326
	北 分 館	96,588	99,746	86,195
レファレンスサービス件数	本 館	4,215	5,575	4,795
	北 分 館	538	249	505
文 献 複 写 受 付 件 数	本 館	6,767	6,204	6,252
	北 分 館	224	262	206
文 献 複 写 依 頼 件 数	本 館	3,039	2,529	2,846
	北 分 館	233	142	179
現 物 貸 借 受 付 件 数	本 館	2,110	2,438	2,439
	北 分 館	253	184	162
現 物 貸 借 依 頼 件 数	本 館	685	815	843
	北 分 館	175	74	90

貸出回数順リスト

本館・開架閲覧室

順位	貸出回数	冊数	書名	著者名
1	70	3	ハリー・ポッターと不死鳥の騎士団	J.K.ローリング作;松岡佑子訳/上
2	67	3	ハリー・ポッターと不死鳥の騎士団	J.K.ローリング作;松岡佑子訳/下
3	60	9	マイクロ経済学	武隈慎一著(新経済学ライブラリ/4)
4	55	6	細胞の分子生物学	Bruce Alberts[ほか]著;中村桂子,松原謙一監訳
5	54	6	量子力学	猪木慶治,川合光著;1
5	54	5	固体物理学入門	Charles Kittel[著];宇野良清[ほか]共訳/上[第7版]
7	53	6	Essential細胞生物学	Bruce Alberts[ほか]著;中村桂子,藤山秋佐夫,松原謙一監訳
8	50	4	憲法	芦部信喜著
9	49	3	債権各論	内田貴著(民法/内田貴著2)
10	42	2	債権総論・担保物権	内田貴著(民法/内田貴著3)[第2版]
11	41	2	親族・相続	内田貴著(民法/内田貴著4)[補訂版]
12	40	7	プレートテクトニクスの基礎	瀬野徹三著/[正]
13	39	3	民事訴訟法	上田徹一郎著[第4版]
14	19	2	中世神道論	大隅和雄校注(日本思想大系19)
14	19	2	代数入門:群と加群	堀田良之著(数学シリーズ/佐武一郎,村上信吾,高橋礼司編)
14	19	2	映画の教科書:どのように映画を読むか	ジェイムズ・モナコ著;岩本憲児[ほか]訳
14	19	2	バイオサイエンスの統計学:正しく活用するための実践理論	市原清志著
14	19	2	入門線形代数	三宅敏恒著
14	19	2	地球惑星科学入門	松井孝典[ほか]著(岩波講座地球惑星科学/1)
14	19	9	ヴォート生化学	Donald Voet, Judith G.Voet著;田宮信雄[ほか]訳/下[第2版]
14	37	5	ストライヤー生化学	Jeremy M.Berg, John L.Tymoczko, Lubert Stryer著;入村達郎,岡山博人,清水孝雄監訳[第5版]
15	36	4	政治学史	福田敏一著
15	36	2	総論・捜査	東京リーガルマインド編著(Providenceシリーズ15 C-bo)
17	35	4	なっとくする演習・熱力学	小暮陽三著
17	35	1	夜のピクニック	恩田陸著
19	33	5	演習マイクロ経済学	武隈慎一著(演習新経済学ライブラリ1)
20	32	2	刑法講義総論	大谷實著[新版, 追補版]
21	31	5	植民地帝国日本の文化統合	駒込武著
21	31	1	刑法総論	山口厚著
21	31	3	ハリー・ポッターと炎のゴブレット	J.K.ローリング作;松岡佑子訳/上
24	30	2	国際条約集	横田喜三郎,高野雄一編/2003
24	30	8	生化学	Lubert Stryer著;田口マミ子[ほか]訳
24	30	4	ゼロから学ぶ量子力学	竹内薫著
24	30	2	C-book刑法	東京リーガルマインド編著/1(Providenceシリーズ/8-10)
24	30	2	債権各論	東京リーガルマインド総合研究所司法試験部(Providenceシリーズ/6.C-bo)
29	29	2	詳解理論応用量子力学演習	後藤憲一[ほか]共編
29	29	2	きらきらひかる	江國香織著(新潮文庫/え-10-1)
29	29	4	MS,IR,NMRの併用	Silverstein, Webster著;(有機化合物のスペクトルによる同定法)[第6版]
29	29	2	債権各論	伊藤真著(伊藤真試験対策講座;4)[第2版補正版]
29	29	3	知的財産法	田村善之著
34	28	4	憲法	伊藤真著(伊藤真試験対策講座/5)[第2版]
34	28	3	ハリー・ポッターと炎のゴブレット	J.K.ローリング作;松岡佑子訳/下
34	28	4	債権各論	内田貴著(民法/内田貴著/2)[第18刷]
37	27	4	教材憲法判例	中村睦男[ほか]編著[第4版]
37	27	2	大人のための勉強法	和田秀樹著/パワーア(PHP新書;112,145)
37	27	1	Q&A	恩田陸著
40	26	9	ヴォート生化学	Donald Voet, Judith G.Voet著;田宮信雄[ほか]訳/上[第2版]
40	26	1	刑法講義各論	大谷實著[新版追補版]
40	26	2	分子生物学講義中継	井出利憲著/Part1
40	26	1	キッドナップ・ツアー	角田光代著(新潮文庫/か-38-1)
40	26	1	オーデュボンの祈り	伊坂幸太郎著(新潮文庫/い-69-1)
40	26	1	誰か	宮部みゆき著
46	25	6	フィールドワーク:書を持って街へ出よう	佐藤郁哉著(ワードマップ)
46	25	4	憲法裁判50年	中村睦男,常本照樹著
46	25	5	固体物理学入門	Charles Kittel[著];宇野良清[ほか]共訳/下[第7版]
46	25	1	火車	宮部みゆき著(新潮文庫/み-22-8)
46	25	4	遺伝子	Benjamin Lewin[著];菊池韶彦[ほか]訳
46	25	2	C-book刑法	東京リーガルマインド編著;2(Providenceシリーズ;8-10)
46	25	2	総論・人権	東京リーガルマインドLEC総合研究所司法(Providenceシリーズ;1.C-bo)
46	25	1	理由	宮部みゆき著(新潮文庫/み-22-13)
46	25	1	東京タワー	江國香織著
46	25	1	グラスホッパー	伊坂幸太郎著
46	25	1	CDエク Spre スドイツ語	小塩節著
46	25	1	ユーゲニア	恩田陸著

北分館・開架閲覧室

順位	貸出回数	冊数	書名	著者名
1	147	14	Essential細胞生物学	Bruce Alberts[ほか]著;中村桂子, 藤山秋佐夫, 松原謙訳
2	99	8	細胞の分子生物学	Bruce Alberts[ほか]著;中村桂子, 松原謙一監訳
3	69	8	電場と磁場	戸田盛和, 中嶋貞雄編
4	61	8	入門線形代数	三宅敏恒著
4	61	5	ストライヤー-生化学	Jeremy M. Berg, John L. Tymoczko, Lubert Stryer著;入村達郎, 岡山博人, 清水孝雄監訳
6	60	5	ハート基礎有機化学	H.ハート, L.E.クレーン, D.J.ハート共著;秋葉欣哉, 奥彬共訳
6	60	8	演習微分積分	寺田文行[ほか]共著
8	57	5	なっとくする演習・熱力学	小暮陽三著
9	56	8	なっとくする解析力学	都筑卓司著
10	54	5	Study guide and solutions manual for McMurry's organic chemistry	Susan McMurry
11	53	10	なっとくする行列・ベクトル	川久保勝夫著
12	52	5	基礎物理化学	Walter J. Moore著;細矢治夫, 湯田坂雅子訳
13	51	5	積分	上見練太郎[ほか]共著
14	49	4	ボルハルト・ショア-現代有機化学	K.P.C. Vollhardt, N.E. Schore著;大塚幸一郎[ほか]訳
15	45	5	なっとくする演習・量子力学	小暮陽三著
16	43	6	なっとくする複素関数	小野寺嘉孝著
16	43	5	Essential 細胞生物学	Bruce Alberts[ほか]著;中村桂子, 松原謙一監訳
16	43	5	詳解電磁気学演習	後藤憲一, 山崎修一郎共編
19	42	6	例解熱・統計力学演習	戸田盛和, 市村純著
20	41	4	有機化学・問題の解き方	Stanley H.Pine著;花房昭静訳
20	41	5	なっとくする電子回路	藤井信生著
20	41	4	例解電磁気学演習	長岡洋介, 丹慶勝著
20	41	5	有機化学	John McMurry著;伊東椒[ほか]訳
20	41	5	有機化学	John McMurry著;伊東椒[ほか]訳
25	40	5	標準生理学	本郷利憲, 廣重力監修;豊田順一[ほか]編集(Standard textbook)
25	40	4	できるIllustrator 10: Windows版	I&D&できるシリーズ編集部編
25	40	4	熱・統計力学	戸田盛和著
28	39	5	なっとくする量子力学	都筑卓司著
28	39	5	微分積分概論	高橋泰嗣, 加藤幹雄共著
30	37	4	なっとくする熱力学	都筑卓司著
30	37	4	なっとくする電磁気学	後藤尚久著
30	37	4	株のしくみ(図解雑学:絵と文章でわかりやすい!)	寺尾淳著
30	37	3	単位が取れる線形代数ノート	齋藤寛靖著
30	37	3	単位が取れる電磁気学ノート	橋元淳一郎著
35	36	4	単位が取れる微積ノート	馬場敬之著
35	36	5	量子化学	大野公一著
37	35	4	電磁気学の考え方	砂川重信著
37	35	5	なっとくする演習・電磁気学	後藤尚久著
39	34	9	微分	上見練太郎[ほか]共著
39	34	4	やさしく学べる線形代数	石村園子著
39	34	5	有機化学	John McMurry著;伊東椒[ほか]訳
39	34	3	論文の教室:レポートから卒論まで	戸田山和久著
43	33	4	好きになる生物学:12カ月の楽しいエピソード	吉田邦久著
43	33	2	ハリー・ポッターと炎のゴブレット	J.K.ローリング作;松岡佑子訳
43	33	3	単位が取れる統計ノート	西岡康夫著
43	33	1	Five minutes to tomorrow	本多孝好著
43	33	1	フランス語(放送大学教材)	鈴木啓二, 増田一夫著
43	33	4	例解量子力学演習	中嶋貞雄, 吉岡大編
49	32	5	フェルミ熱力学	エンリコ・フェルミ著;加藤正昭訳
49	32	4	なっとくするフーリエ変換	小暮陽三著
49	32	4	すぐわかる線形代数	石村園子著
49	32	4	TOEFLテストリーディング問題270	田中真紀子著
49	32	3	絶対わかる量子化学	齋藤勝裕著

会議（平成18年3月18日～7月14日）

【学 内】

◎図書館委員会

○第204回〈6月20日(火)〉

議題

1. 平成17年度附属図書館事業結果及び平成18年度事業計画について
2. 平成17年度決算について
3. 平成18年度予算について
4. 平成19年度の学術研究コンテンツについて
5. 北海道大学附属図書館閲覧個室利用内規の改正について

報告事項

1. 平成18年度第1回・第2回学術研究コンテンツ小委員会について
2. 平成18年度第1回学術成果発信小委員会について
3. 国立情報学研究所（N I I）の遡及入力事業について
4. 平成18年度科学研究費補助金について
 - 1) 平成18年度「北方関係資料総合データベース」作成計画について
 - 2) 大学研究機関が公開する学術成果コンテンツへのアクセス増進に関する技術動向調査
5. 平成18年度本・分館の蔵書点検計画について
6. 北分館の改修について
7. 附属図書館（本館）の一部改修について
8. 平成19年度図書業務統合に向けての検討について
9. 小樽商科大学学生の本学附属図書館利用結果について
10. 国立大学図書館協会理事会（平成17年度第4回）について
11. 「蝦夷言いろは引」の返納について

◎北分館委員会

○第143回〈7月3日(月)〉

議題

1. 平成17年度北分館図書費決算について
2. 平成18年度北分館図書費予算について
3. 平成17年度北分館事業報告及び平成18年度北分館事業計画について
4. 教員選定図書の推薦について
5. 教員選定・教員推薦参考図書及び視聴覚資料の推薦について
6. 基本的叢書・講座の自然科学系部局の推薦について

報告事項

1. 第142回北分館委員会議事の確定について
2. 北分館改修について
3. 「本は脳を育てる」について

◎学術研究コンテンツ小委員会

○平成18年度第1回〈5月8日(月)〉

○平成18年度第2回〈5月29日(月)〉

◎学術成果発信小委員会

○平成18年度第1回〈5月11日(木)〉

【学 外】

◎国立大学図書館協会

○理事会〈5月26日(金)〉(東京大学)

○総会〈6月29日(木)〉(一橋大学)

◎国立大学図書館協会北海道地区協会

○総会〈4月21日(金)〉(旭川医科大学)

◎北海道地区大学図書館協議会

○第49回図書館職員研究集会企画委員会(北海道大学)

第1回〈4月27日(木)〉 第2回〈5月23日(火)〉 第3回〈7月13日(木)〉

○幹事館会議(北海道大学)

第2回〈6月26日(月)〉

◎北海道図書館連絡会議

○幹事会〈6月20日(月)〉(道立図書館)

図書館委員会委員名簿

平成18年7月1日現在

所 属	職名	氏 名	電話	任 期	備 考
理事・副学長	館 長	逸 見 勝 亮	2963	17. 5. 1～19. 4. 30	
言語文化部	副館長	大 平 具 彦	5358	17. 5. 1～19. 4. 30	
文学研究科	教 授	櫻 井 義 秀	4195	17. 4. 1～19. 3. 31	
教育学研究科	教 授	鈴 木 敏 夫	5435	18. 4. 1～19. 3. 31	
法学研究科	教 授	林 嶋	3944	18. 4. 1～20. 3. 31	
経済学研究科	教 授	板 谷 淳 一	2858	17. 4. 1～19. 3. 31	
医学研究科	教 授	櫻 井 恒太郎	6017	17. 4. 1～19. 3. 31	
歯学研究科	助教授	山 本 恒 之	4224	18. 4. 1～20. 3. 31	
工学研究科	教 授	佐々木 一 彰	6366	18. 4. 1～20. 3. 31	
獣医学研究科	教 授	堀 内 基 広	5293	17. 3. 1～19. 2. 28	
国際広報メディア研究科	教 授	石 橋 道 大	5413	18. 4. 1～20. 3. 31	
情報科学研究科	教 授	佐 藤 義 治	6804	18. 4. 1～20. 3. 31	
水産科学研究院	教 授	桜 井 泰 憲	8861	18. 5. 1～20. 4. 30	
地球環境科学研究院	助教授	廣 川 淳	4528	18. 4. 1～20. 3. 31	
理学研究院	教 授	石 川 健 三	2688	18. 7. 1～20. 6. 30	
薬学研究院	助教授	中 村 精 一	3267	17. 6. 1～19. 5. 31	
農学研究院	助教授	志 賀 永 一	2461	17. 4. 1～19. 3. 31	
先端生命科学研究院	助教授	高 田 泰 弘	2742	18. 4. 1～20. 3. 31	
公共政策学連携研究部	助教授	川 島 真	3132	17. 4. 1～19. 3. 31	
北海道大学病院	教 授	福 田 諭	5955	16. 9. 16～18. 9. 15	
低温科学研究所	助教授	隅 田 明 洋	5507	17. 4. 1～19. 3. 31	
電子科学研究所	教 授	徳 本 洋 志	9354	17. 4. 1～19. 3. 31	
遺伝子病制御研究所	教 授	田 中 一 馬	5165	18. 4. 1～20. 3. 31	
言語文化部	教 授	高 橋 吉 文	5392	17. 4. 1～19. 3. 31	
触媒化学研究センター	教 授	朝 倉 清 高	9113	18. 4. 1～20. 3. 31	
スラブ研究センター	助教授	兎 内 勇津流	3310	18. 4. 1～20. 3. 31	
高等教育機能開発総合センター	教 授	西 森 敏 之	7517	16. 9. 18～18. 9. 17	
医療技術短期大学部	教 授	大宮司 信	3387	17. 4. 1～19. 3. 31	

北分館委員会委員名簿

平成18年7月1日現在

所 属	職名	氏 名	電話	任 期	備 考
言語文化部	分館長	大 平 具 彦	5358	17. 5. 1～19. 4. 30	
文学研究科	教 授	櫻 井 義 秀	4195	17. 4. 1～19. 3. 31	
経済学研究科	教 授	板 谷 淳 一	2858	18. 4. 1～19. 3. 31	
言語文化部	教 授	高 橋 吉 文	5392	18. 4. 1～19. 3. 31	
理学研究院	教 授	石 川 健 三	2688	18. 7. 1～19. 3. 31	
医学研究科	教 授	櫻 井 恒太郎	6017	18. 4. 1～19. 3. 31	
薬学研究院	助教授	中 村 精 一	3267	18. 4. 1～19. 5. 31	
高等教育機能開発総合センター	教 授	西 森 敏 之	7517	16. 9. 18～18. 9. 17	
経済学研究科	教 授	佐々木 憲 介	2613	18. 4. 1～20. 3. 31	
農学研究院	教 授	川 端 潤	2496	18. 4. 1～20. 3. 31	

学術研究コンテンツ小委員会委員名簿

平成18年7月1日現在

所 属	職名	氏 名	電話	任 期	備 考
言語文化部	副館長	大平具彦	5358	17. 5. 1~19. 4. 30	委員長
文学研究科	教授	櫻井義秀	4195	17. 4. 1~19. 3. 31	
経済学研究科	教授	板谷淳一	2858	18. 4. 1~19. 3. 31	
高等教育機能開発総合センター	教授	西森敏之	7517	18. 4. 1~18. 9. 17	
理学研究院	教授	石川健三	2688	18. 7. 1~20. 6. 30	
農学研究科	助教授	志賀永一	2461	17. 4. 1~19. 3. 31	
低温科学研究所	助教授	隅田明洋	5507	18. 4. 1~19. 3. 31	
北海道大学病院	教授	福田論	5955	17. 4. 1~18. 9. 15	
歯学研究科	助教授	山本恒之	4224	18. 4. 1~20. 3. 31	
遺伝子病制御研究所	教授	田中一馬	5165	18. 4. 1~20. 3. 31	
医学研究科	教授	櫻井恒太郎	6017	18. 4. 1~19. 3. 31	
附属図書館	事務部長	五十嵐哲郎	2964	17. 4. 1~	

学術成果発信小委員会委員名簿

平成18年7月1日現在

所 属	職名	氏 名	電話	任 期	備 考
医学研究科	教授	櫻井恒太郎	6017	17. 11. 24~19. 3. 31	委員長
教育学研究科	教授	鈴木敏夫	5435	18. 4. 1~19. 3. 31	
言語文化部	教授	高橋吉文	5392	17. 11. 24~19. 3. 31	
水産科学研究院	教授	桜井泰憲	8861	18. 7. 1~20. 4. 30	
農学研究院	助教授	志賀永一	2461	18. 4. 1~19. 3. 31	
医療技術短期大学部	教授	大宮司信	3387	17. 11. 24~19. 3. 31	
情報基盤センター	教授	野坂政司	3227	17. 11. 24~19. 11. 23	
学術国際部研究協力課	課長				
附属図書館情報システム課	課長	加徳健三	2563	17. 11. 24~	
経済学研究科	教授	濱田康行	3174	17. 11. 24~19. 11. 23	
理学研究院	助教授	栃内新	4463	17. 11. 24~19. 11. 23	
理学研究院	助手	行木孝夫	4439	17. 11. 24~19. 11. 23	

点検評価小委員会委員名簿

平成18年7月1日現在

所 属	職 名	氏 名	電話	任 期	備 考
言語文化部	副館長	大平具彦	5358	17. 7. 26~19. 4. 30	委員長
経済学研究科	教授	板谷淳一	2858	17. 7. 26~19. 3. 31	
公共政策学連携研究部	助教授	川島真	3132	17. 7. 26~19. 3. 31	
水産科学研究院	教授	桜井泰憲	8861	18. 7. 1~20. 4. 30	
農学研究院	助教授	志賀永一	2461	18. 4. 1~19. 3. 31	
薬学研究院	助教授	中村精一	3267	17. 7. 26~19. 5. 31	
獣医学研究科	教授	堀内基広	5293	17. 7. 26~19. 2. 28	
附属図書館	事務部長	五十嵐哲郎	2964	17. 7. 26~	
附属図書館	情報管理課長	木下彰	2965	17. 7. 26~	
附属図書館	情報サービス課長	佐藤清一	3619	17. 7. 26~	
附属図書館	情報システム課長	加徳健三	2563	17. 7. 26~	

人 事 往 来

【平成18年 3月31日付発令】

[定年]

高 崎 仁 雄 附属図書館情報サービス課北分館情報サービス係長

岩 佐 征 子 工学研究科・情報科学研究科・工学部総務課図書閲覧係

[辞職]

春 名 克 彦 農学研究科・農学部図書整理係長

【平成18年 4月 1日付発令】

[転入・昇任・配置換等]

岸 本 一 志 附属図書館情報サービス課相互利用係長（旭川医科大学教務部図書館情報課情報サービス係長）

榮 森 義 晴 附属図書館情報サービス課北分館情報サービス係長（附属図書館情報管理課北分館情報管理係長）

片 桐 和 子 附属図書館情報システム課目録情報第一係長（附属図書館情報システム課目録情報係長）

西 山 光 幸 附属図書館情報システム課目録情報第二係長（室蘭工業大学図書課整理係長）

山 田 達 雄 教育学研究科・教育学部図書係長（環境科学事務部図書係長）

長 井 伸 一 理学・生命科学事務部事務課図書係長（理学研究科・理学部図書係長）

午 来 信 子 医学事務部事務課図書整理係長（医学研究科・医学部図書整理係長）

川 端 美 明 医学事務部事務課図書閲覧係長（医学研究科・医学部図書閲覧係長）

土 田 健 治 薬学事務部図書係長（薬学研究科・薬学部図書係長）

吉 田 恭 子 農学事務部図書整理係長（農学研究科・農学部図書閲覧係長）

三 橋 修 農学事務部図書閲覧係長（附属図書館情報サービス課相互利用係長）

小 峯 邦 夫 環境科学事務部図書係長（教育学研究科・教育学部図書係長）

高 畑 周 子 電子科学研究所会計係主任（附属図書館情報管理課会計係主任）

佐 藤 真 美 附属図書館情報管理課会計係（財務部調達課調達第三係）

鈴 木 雅 子 附属図書館情報管理課図書受入係（附属図書館情報システム課システム管理係）

野 中 雄 司 附属図書館情報管理課図書受入係（附属図書館情報管理課北分館情報管理係）

村 上 豊 附属図書館情報サービス課資料サービス係（附属図書館情報サービス課北分館情報サービス係）

児 玉 陽 子 附属図書館情報サービス課参考調査係（工学研究科・情報科学研究科・工学部総務課図書閲覧係）

加 藤 大 博 附属図書館情報システム課目録情報第一係（附属図書館情報システム課目録情報係）

川 村 路 代 附属図書館情報システム課目録情報第一係（附属図書館情報システム課目録情報係）

三 瓶 由 紀 子 附属図書館情報システム課目録情報第二係（附属図書館情報管理課北分館情報管理係）

堀 越 邦 恵 附属図書館情報システム課システム管理係（附属図書館情報システム課目録情報係）

平 野 知 文学研究科・文学部図書係（医学研究科・医学部図書整理係）

吉 田 亘 理学・生命科学事務部事務課図書係（理学研究科・理学部図書係）

山 家 尚 子 理学・生命科学事務部事務課図書係（工学研究科・情報科学研究科・工学部総務課図書閲覧係）

濱 恭 子 理学・生命科学事務部事務課図書係（理学研究科・理学部図書係）

石 丸 恵 理学・生命科学事務部事務課数学専攻図書室（獣医学研究科・獣医学部図書係）

石 森 久 美 理学・生命科学事務部事務課数学専攻図書室 (理学研究科・理学部数学専攻図書室)
伊 藤 啓 子 医学事務部事務課図書整理係 (工学研究科・情報科学研究科・工学部総務課図書閲覧係)
松 野 とも子 医学事務部事務課図書整理係 (医学研究科・医学部図書整理係)
池 田 幸 代 医学事務部事務課図書閲覧係 (医療技術短期大学部兼務) (医療技術短期大学部学務係)
綾 田 陽 子 医学事務部事務課図書閲覧係 (医学研究科・医学部図書閲覧係)
小 林 流美子 歯学研究科・歯学部図書係 (理学研究科・理学部数学専攻図書室)
磯 本 善 男 薬学事務部図書係 (薬学研究科・薬学部図書係)
神 谷 実 工学研究科・情報科学研究科・工学部総務課図書整理係 (理学研究科・理学部図書係)
福 井 みゆき 工学研究科・情報科学研究科・工学部総務課図書閲覧係 (農学研究科・農学部図書整理係)
中 村 直 子 工学研究科・情報科学研究科・工学部総務課図書閲覧係 (工学研究科・情報科学研究科・工学部総務課図書整理係)
東 朋 子 工学研究科・情報科学研究科・工学部総務課図書閲覧係 (文学研究科・文学部図書係)
井手上 恵 子 農学事務部図書整理係 (附属図書館情報サービス課参考調査係)
佐 藤 剛 農学事務部図書整理係 (歯学研究科・歯学部図書係)
村 木 麻衣子 農学事務部図書整理係 (農学研究科・農学部図書整理係)
細 井 真弓美 農学事務部図書閲覧係 (農学研究科・農学部図書閲覧係)
加 藤 彰 農学事務部図書閲覧係 (農学研究科・農学部図書閲覧係)
手 島 慶 子 農学事務部図書閲覧係 (農学研究科・農学部図書閲覧係)

[採用等]

長 嶋 岳 生 附属図書館情報サービス課北分館情報サービス係
岩 佐 征 子 工学研究科・情報科学研究科・工学部総務課図書閲覧係
高 崎 仁 雄 獣医学研究科・獣医学部図書係

[転出・出向等]

小 林 真木子 室蘭工業大学図書課運用係長 (附属図書館情報管理課図書受入係)
藤 井 真 嗣 弘前大学附属図書館 (農学研究科・農学部図書整理係)

図書館日誌（平成18年4月～6月）

月日	項 目	月日	項 目
4月		19	情報探索入門
1	本館・北分館の管理業務を統合する	22	機関リポジトリワークショップ(千葉)(情報管理課)(情報システム課)
1	北海道大学学術成果コレクションの運用を開始する	22	ライブラリーセミナー(Web of Scienceの使い方)
3	本館・北分館借用図書の方角受領開始	23	第49回北海道地区大学図書館職員研究集会企画委員会(2回目)(北大)
4	新任担当者実務研修(基本/検索システム)	23-26	情報探索入門
5	ライブラリー・オリエンテーション(公共政策大学院)	24	文献探索ワークショップ(経済学研究科)
5-7	新任担当者実務研修(目録管理システム)	24-26	目録/ILLシステム(地域)講習会講師担当者説明会(東京)(情報システム課)
10	新任担当者実務研修(図書受入システム)	26	国立大学図書館協会理事会(平成17年度第4回)(東京)(部長, 情報管理課長)
11-12	新任担当者実務研修(雑誌受入システム)	29	平成18年度第2回学術研究コンテンツ小委員会
11-14	北分館ガイダンス	29	EndNoteセミナー(会場:理・獣医)
12	図書館見学(大原医療福祉専門学校10名)	29	北方資料データベース打合せ会議
12-14	図書館利用ガイダンス(本館)	29-30	情報探索入門
12-14	ライブラリーセミナー(OPAC)	30	EndNoteセミナー(会場:教育(W棟)・医・図)
13	平成17年度第8回学術リポジトリWG会議	31	小樽商科大学特別貸出終了
13-14	新任担当者実務研修(ILLシステム)	6月	
14	平成18年度第1回アウトソーシング検討WG会議	1-2	第27回EDCセミナー(東京)(情報サービス課)
14	新任担当者実務研修(所蔵閲覧システム)	6-12	日・EUフレンドシップウィーク「EDC紹介展」
14	文献探索ワークショップ(文学研究科)	7-8	情報探索入門
17	学術成果コレクション部会(平成18年度第1回)	9	スラブ研究センター統合業務運営会議(平成18年度第1回)
18	総長・事務局長北分館視察	12	文献探索ワークショップ(留学生センター)
19	LexisNexis Academic講習会(附属図書館)	13	情報探索入門
19	CSI事業説明会(東京)(情報システム課)	14	平成18年度第2回ホームページ委員会
19-21	情報探索入門	16	平成18年度第3回アウトソーシング検討WG会議
20	平成18年度第1回北分館図書選定小委員会	16	ライブラリーセミナー(Web of Scienceの使い方)
21	第38回国立大学図書館協会北海道地区協会総会(旭川)(館長, 部長, 情報管理課長, 情報システム課長)	19	平成18年度第1回北海道大学認証基盤整備専門委員会(情報システム課長)
21	臨時ガイダンス(本館)	19	平成18年度図書館実習生の打合せ会議
24	産業医の巡視	20	第204回図書館委員会(平成18年度第1回)
25	図書館見学(八雲高校20名)	20	北海道図書館連絡会議幹事会(道立図書館)(情報サービス課長)
27	第49回北海道地区大学図書館職員研究集会企画委員会(1回目)(北大)	21-23	平成18年度目録システム地域講習会(北大)
25-28	情報探索入門	23	ライブラリーセミナー(電子ジャーナルの使い方)
5月		26	平成17年度第2回北海道地区大学図書館協議会幹事館会議(北大)
2	情報探索入門	27	青島大学師範学院図書館長・研究館員(東大研究員)来館
8	平成18年度第1回学術研究コンテンツ小委員会	28	国立大学協会マネジメントセミナー(東京)(館長, 副館長, 部長, 情報システム課長)
8	ライブラリーセミナー(電子ジャーナルの使い方)	29	第53回国立大学図書館協会総会(東京)(館長, 副館長, 部長, 情報管理課長, 情報システム課長)
8-12	会計監査人(新日本監査法人)による監査	30	平成18年度第1回「学術コンテンツ・連携本部」会議(東京)(館長)
9-12	情報探索入門	30	図書館見学(北海道ハイテクノロジー専門学校35名)
10	平成18年度第1回ホームページ委員会	30	平成18年度第1回図書館情報システム機器更新WG会議
10	利用講習会(医学研究科)		
11	平成18年度第1回学術成果発信小委員会		
12	平成18年度第2回アウトソーシング検討WG会議		
13(土)	図書館北方資料室見学(北大生ボランティアによる市民見学ツアー8名)		
15	平成18年度第1回楡蔭編集委員会		
16	CSI構築推進委託事業成果報告交流会(東京)(情報システム課)		
16	利用講習会(医学研究科)		
16-17	情報探索入門		
17	文献探索ワークショップ(文学研究科)		

■ 附属図書館・北分館・部局図書館の開館(室)時間 ■

部 局 名	内線	平 日 開室時間	土曜日・日曜日 開室時間	備 考	
附属図書館	本 館	3956-7	9:00~22:00	9:30~19:00	休館日：12月28日から1月4日。 学生休業期間中は17:00で閉館です。 各室の開室時間は問い合わせのこと。
	北分館	5575	9:00~22:00	9:30~19:00	
文学研究科・文学部	3061	9:00~17:00	——		
教育学研究科・教育学部	3086	9:00~17:00	——		
経済学研究科・経済学部	3167	9:00~17:15	——		
理学研究院・理学院・理学部	2667	9:00~17:00	——		
医学研究科・医学部	5016	9:00~22:00 (24時間)	(24時間)	平日9:00~22:00以外は、自動入退館管理システムによる開館であり、利用対象学生は、医学研究科・医学部の教職員、学生(3年生以上)及び北大病院の教職員です。	
歯学研究科・歯学部	4210	9:00~20:00	10:00~17:00 (土曜日のみ)	学生休業期間中は、17:00で閉室(夜間・土曜日は閉室)です。	
薬学研究院・薬学部	3914	9:00~17:00 (24時間)	(24時間)	平日9:00~17:00以外は、オートドアロックカード方式による開室であり、利用は薬学研究院・生命科学院医薬科学コース・薬学部の教職員、学生(4年生以上)に限ります。	
工学研究科・工学部	6136 6160	9:00~20:00	——	学生休業期間中は、17:00で閉室(夜間は閉室)です。	
農学研究院・農学院・農学部	4122	4~10月 9:00~17:00 11~3月 9:00~20:00	——	学生休業期間中は、17:00で閉室(夜間は閉室)です。「改修工事に伴い平成18年10月下旬まで、仮図書館(S棟172室)でのサービスとなります。開室時間は9:00~17:00です。図書資料の利用はできません。」	
獣医学研究科・獣医学部	5179	9:00~17:00 (24時間)	(24時間)	平日9:00~17:00以外は、オートドアロックカード方式による開室であり、利用は獣医学研究科・獣医学部の教職員、学生に限ります。	
水産科学研究院・水産科学院・水産学部	5513	9:00~20:00	——	学生休業期間中は、17:00で閉室(夜間は閉室)です。	
地球環境科学研究院・環境科学院	2208	9:00~17:00 (24時間)	(24時間)	平日9:00~17:00以外は、磁気カードによる開室であり、利用は当研究院構成員に限ります。昼休みは、カウンターを閉じます。	
学務部(全学教育事務室人文辞書資料室)	5417	9:00~17:15	——		
低温科学研究所	5449	9:00~17:00 (24時間)	(24時間)	平日9:00~17:00以外は、磁気カードによる開室であり、利用は当研究所構成員に限ります。昼休みは、カウンターを閉じます。	
電子科学研究所	3363	9:00~17:00 (24時間)	(24時間)	平日9:00~17:00以外は、カードロックシステムを採用。対象は、電子科学研究所の教職員、学生等に限ります。昼休みは、カウンターを閉じます。	
遺伝子病制御研究所	5516	9:00~17:00	——		
北キャンパス合同情報資料室	9106	9:00~17:15 (24時間)	(24時間)	平日9:00~17:15以外は、磁気カードによる開室であり、利用は触媒化学研究センター及び創成科学研究機構の構成員に限ります。	
スラブ研究センター	3310	9:00~17:00	——	昼休み(12:00~13:00)は、閉室です。	
医療技術短期大学部	3319	9:00~17:00 (24時間)	(24時間)	平日の9:00~17:00以外は、オートドアロックカード方式による開室であり、利用は医療技術短期大学部、医学部保健学科の学生(平日17:00~19:00)、教員(24時間)に限ります。	

北海道大学附属図書館報「榆蔭」(ゆいん) 第123号 平成18年7月31日発行

〈編集〉 「榆蔭」編集委員会

〈発行〉 北海道大学附属図書館 〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目
TEL: 011-706-2967 FAX: 011-747-2855 ホームページ <http://www.lib.hokudai.ac.jp>